

2025年

vol.485

7月 [July]

ぴっぷ



17区 株ノウリエ

INDEX

営農情報	2~5	JAぴっぷ町のできごと	8~11
農作業中の熱中症に注意しましょう!!	6	インフォメーション	12~14
夏バテ対策おすすめ・NGドリンク	7	理事会報告	15



JAぴっぷホームページ

<https://www.ja-pippu.or.jp/>



冷害危険期～出穂期、登熟期間の水管理

良食味米の安定生産には生育ステージに合わせた水管理を行い、遅発分けつや遅れ穂の抑制、不稔防止、中干しによる根の活力向上を図ることが大切です。各水管理の実施タイミングをしっかり見極め、収量・品質の向上に努めましょう。

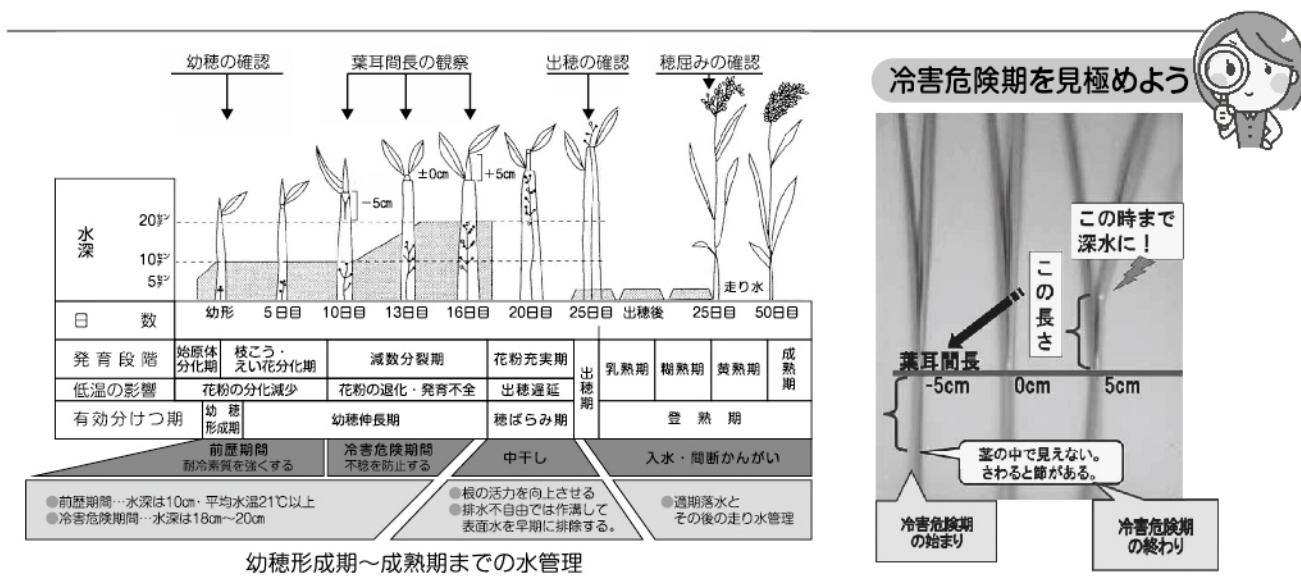
1. 不稔軽減に向けた水管理

(1) 冷害危険期の深水管理～水深18～20cmを目安に幼穂を保護～

前歴期間および冷害危険期に低温に遭遇すると不稔粒が発生します。不稔粒の発生は品質の低下（着色粒の発生など）や蛋白質含有率が上がり食味低下の原因となります。この時期は幼穂の伸長に合わせて水位を高めていき、最大水深は18～20cmを保ち、低温から幼穂を保護します。冷害危険期の判断は、止葉と前葉の付け根にある「葉耳」の間隔（葉耳間長）を計測して決定します。

深水管理は遅れ穂の発生を抑制し、整粒歩合を高めます。好天であっても深水として下さい。特に、低温の予報は直前に出されると多く、予報が出てから水を入れる場面では水の取り合いが見られることがあるため、幼穂形成期を確認したら中干しは中止して必ず水を入れるようにしましょう。

幼穂形成期の把握は、前歴期間以降の水管理と生育の遅延診断にとって極めて重要です。くみあいだより5月号の営農情報を参考に幼穂形成期の確認をお願いします。



「深水管理」作業のポイント

① 「深水かんがい」が出来る環境を整えよう！

- 低温から幼穂を守るために『深水かんがいの徹底』を心掛けてください。
- 普段から深水管理ができる環境を整えてください。
⇒畦畔の整備・水尻の強化などの漏水防止対策の徹底を！

② ほ場ごとに「幼穂形成期」の確認を！

- 『幼穂の伸長に合わせた深水かんがい』を実施するため、ほ場・品種ごとに幼穂形成期の確認をします。
- 幼穂形成期確認後は中干しを中止し、幼穂の伸長に合わせて水位をあげていきます。



- ③冷害危険期→「花粉を低温から守ります」
- ・『低温によって不稔が最も生じやすい時期』です。
 - ・幼穂形成期からおおむね10日後に始まり、その後1週間程度続きます。低温の場合

は、更に期間が長くなります。
⇒冷害危険期は『可能な限りの深水を徹底』
しましょう！（理想は水深18～20cmとし、低温から幼穂を保護します。）

（2）耐倒伏性向上と蛋白質含有率低下のためにはケイ酸資材の追肥を

ケイ酸資材の追肥を実施することにより、茎の強度が向上し、**耐倒伏性が向上します**。健全な水稻は大量のケイ酸を吸収し蓄積しますが、**多くのほ場で土壤中可給態ケイ酸含有量（基準値16mg/100 g以上）が不足しています**。

葉全体が直立することにより、下葉にも太陽光が当たるようになり、でんぶんの成分と転流が活発になる為、蛋白質含有率が下がり、**登熟・食味の向上など**が期待できます。

幼穂形成期から1週間後までにケイ酸資材の追肥を行うと効果的です。

（3）深水管理の終了～中干し、溝切りにより根の活力を高める～

長期間の深水管理により、根の周囲は酸素不足となっています。冷害危険期終了後、直ちに落水し、出穂直前まで中干しにより根圏に酸素を供給し、根の活力を高めます。中干しは、地表面を固め稻の倒伏を防ぎます。また、排水不良田では、出穂後の水管理を容易にするため溝切りを行い、排水路につなげて表面水の排水に努めましょう。

2. 根の活力を維持し登熟を高めよう

出穂始から登熟期の水管理～適切な水管理で登熟促進、落水時期にも注意～

出穂が始まると速やかに入水します。登熟期間は土壤水分が少なくなると登熟不良による収量、品質の低下を招きます。

（1）出穂・開花時は湛水状態に

水稻は出穂・開花が始まると、急速に子房（玄米）が肥大を始めるため、十分な土壤水分が必要です。出穂を確認したら土壤水分をしっかりと保持することが大切です。

（2）高温には要注意

出穂後10日間の気温が高いほど、胴割れ米の発生が多くなるとされています。でんぶん蓄積の異常により、割れやすくなると考えられています。

○登熟初期に高温になる日において、可能であれば用水かけ流しによりほ場温度（地温）を下げる水管理を行いましょう。実施の目安は、出穂後20日以内で、日中の気温が29°C以上、夜間も23°C以上になる日が5日以上続くと予測される場合です。

○用水の確保が難しい圃場においては、

- ・用水路、畦畔、水尻等の漏水の防止の徹底
- ・ほ場を選択して、1筆毎、確実に入水する
- ・出穂期および出穂後7～10日後に水が行き渡るよう計画的に入水を行う
- ・可能な限り湛水状態を維持する

3. 胴割れ被害の回避に向けて

胴割れは粒乾燥時における急激な水分低下などで発生しやすく、稀に立毛中の米粒が吸湿や放湿を繰り返す事でも発生する場面があり、今まででは収穫期以降の生産管理が重要視されていました。しかし、**近年の研究で登熟初期の気象条件も胴割れ粒の発生に関与していることが示され、出穂後10日間の日最高気温、特に出穂開花後6～10日後までの平均日最高気温が高いと特異的に**



増加することが分かっています。

近年は異常高温に遭遇する機会が多くなり、発生リスクの低下に向けて、作期中の栽培管理についても注意する必要があります。

▶対策「登熟期の高温対策」

白未熟粒も同様で、登熟初期のは場乾燥により多発します。こまめな水管理を行い、発生を抑制しましょう。穂揃い性の向上で初期生育のよい米作りを行ってください。

▶対策「登熟期の土壌水分確保」

登熟中の土壌水分不足は、胴割れだけでなく、収量や品質の低下にも直結します。前ページ「2. 根の活力を維持し登熟を高めよう」を参考には場管理を行い、適期収穫をしましょう。

4. 登熟仕上の水管理

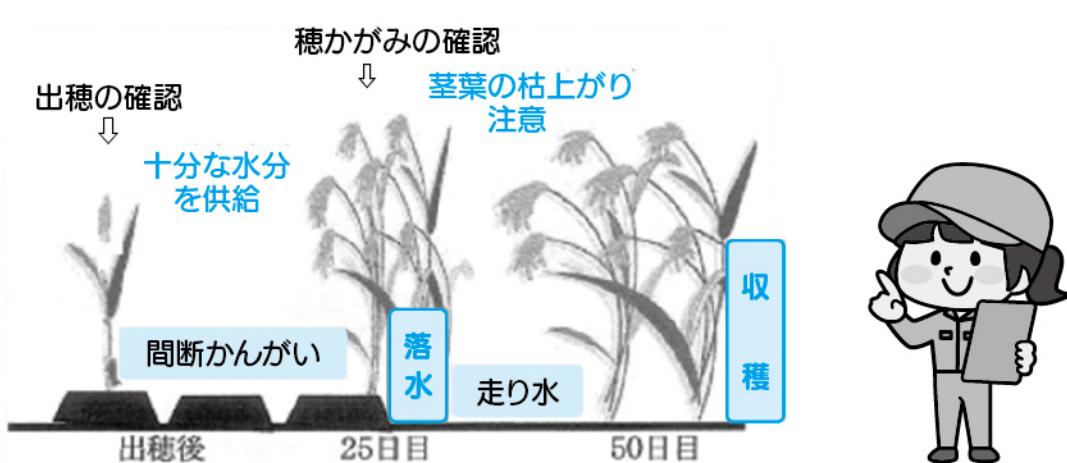
早期の落水により、ほ場が乾燥状態となると不完全米、くず米、胴割れ米などが増加します。

落水時期の決定は、コンバインの作業性を考慮することも大切ですが、米粒の生長を阻害させない土壌水分の確保を優先して決定しましょう。

排水良好田（褐色低地土）では、穂かがみ期（出穂期後25日頃）以降に行うのが原則です。穂揃いの状況や登熟状況をよく観察した上で落水しましょう。なお、湿田や、透水不良田の落水時期は、出穂期～出穂期後7日目が目安です

また、用水路の断水前に一度5～10cm程度の湛水とし、落水後の土壌水分を適正に保つことも大切です。

排水不良田（グライ土・泥炭土など）では、出穂期～出穂揃いの落水となりますが、1cm以上のヒビ割れが生じないよう、適宜走り水を実施しましょう。



登熟期間の土壌水分が収量と品質に及ぼす影響

土 壤 の 状 態	収量への影響	品質への影響
作土に深い大亀裂生成、水稻根の切断を確認	×	×
作土に幅1cm程度の亀裂多数、足跡がつかない	△	×
表面に小亀裂生成、わずかに足跡がつく	○	○

注) ○: 良好 △: 境界領域 ×: 不適



病害虫防除 予察を徹底しましょう

○いもち病

- ア. いもち病の発生が懸念される水田（茎数過多、葉色が濃い、風のたまる場所など）で、薬剤の育苗箱施用や水面施用剤を散布できなかった場合は、7月上旬～中旬頃に予防剤の茎葉散布を検討してください。
- イ. 葉いもち病の発生予察を実施しましょう。予察にあたっては、病害虫防除所のホームページで公開されている「BLASTAM情報（葉いもち病発生予測システム）」を参考にして下さい。感染好適日、準好適日となった日から7日後をめどに、例年発生しやすい水田を重点的に観察し、発生を確認したら、5～7日間隔で防除を行いましょう。

●北海道病害虫防除所ホームページ

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoto/blastam/index.htm>



LINEの登録は
こちらから

ウ. 出穂期の防除は、節・穗いもちの感染防止のため必ず実施してください。

○カメムシ（アカヒゲホソミドリカスミカメ）

- ア. 水田への飛び込みが集中する出穂期と、その7～10日後は必ず防除を実施しましょう。出穂期の把握と予察を行い、的確に防除しましょう。
- イ. フェロモントラップによるカメムシの発生状況を、資材店舗への掲示と、LINE、JAコネクトによる配信で随時お知らせします。フェロモントラップの設置は7月3日頃～の予定で、配信は8日頃～を予定しています。

畦畔等への農薬散布は細心の注意を！

除草作業の省力化のために畦畔や敷地周辺への除草剤散布が増えるに従って、水田や畠へのドリフト（飛散）による作物への生育被害等が近隣の町村でも散見されています。「作業に慣れているから大丈夫」や、「少しくらいかかるても平気だろう」などの油断もドリフトが発生する要因の一つです。



もしも残留農薬が検出された場合は、調査料金や、被害に応じた補償等が発生する場合もあるため、周辺に水田や畠、ハウスなどがある場合は、風向きやハウスの開閉状態などを十分に配慮してドリフトを未然に防ぎましょう。



基幹防除までに畦畔や雑草地等の雑草刈取りを終わらせ、カメムシの発生源を無くしましょう。特にスズメノカタビラは早期に無くしましょう。

次年度へ向けて

○育苗用ハウスの土壤診断(pH診断)を行いましょう。

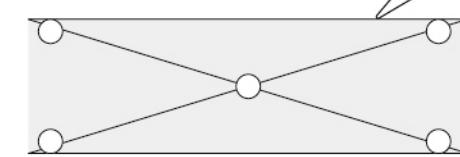
水稻床土のpH値の矯正は秋頃までに実施しましょう。pH値が適正值でないと病気が発生したり、苗が必要な養分を十分に吸収できず軟弱な苗になりますので、本年生育不良が見られた床土は積極的に土壤診断を行い、ムラのあった箇所は他の採取箇所と分けて出す様にしましょう。（図1参照）また、採取する際の深さはおおよそ10cm程度で採取しましょう。

（図2参照）

土のpH値の測定は常時営農課で受け付けておりますので、是非ご利用ください。（土は乾燥させてから持参してください）

図1 生育ムラが見られたハウスの採取法

それぞれ1か所ずつを取り、湿せずに土壤分析に出す。



なるべく表面を削ってから採取しましょう。

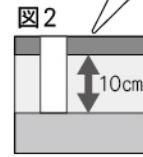


図2
10cm

熱中症は予防が大切です

農作業中の熱中症に 注意しましょう!!



今年の夏も厳しい暑さになりそうです。

熱中症は夏の気温が高い日に直射日光が当たる場所や、湿度の高い場所にいると急に体調が悪くなり、けいれん・めまい・失神・頭痛・吐き気などの多くの症状をあらわし、最悪の場合は死に至ります。

熱中症は屋外だけで起こるわけではありません。屋内にいても起こる危険性は十分にありますので、それほど暑く感じなくても、こまめに水分補給をして下さい。

[熱中症の症状]

軽



- ・めまい
- ・たちくらみ
- ・多汗
- ・のどの渴き
- ・けいれん
- ・顔色が悪い
- ・失神
- ・呼吸数が増える

中



- ・頭痛
- ・おう吐
- ・吐き気
- ・疲労感
- ・虚脱感
- ・高体温 (38~40°C)

重



- ・手足が動かない
- ・呼吸が浅い
- ・呼びかけても返事がおかしい
- ・体に触ると熱い



熱中症にならないために

- 日中気温の高い時間帯をなるべく避けて作業を行う。
- 作業は2人以上で行い、定期的に異常がないか確認し合う。
- 休憩時は作業着を脱ぎ、手足を出し体温を下げる。
- 热や湿気がこもりやすいハウス等の施設内作業では風通しを良くするなどの対策を。
- のどが渴いていなくても何度も休憩をはさみ、こまめに水分と塩分を補給する。

熱中症の処置

- ・涼しい場所へ避難
- ・服を緩め、風通しを良くする
- ・身体に水をかけ、うちわなどで扇ぐ
- ・脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やす
- ・水分と塩分を補給



※上記の処置をしても体調が良くならない場合は医療機関での手当が必要

熱中症における後遺症

重度の熱中症にかかった後、体が回復するまでに時間がかかります。まず、熱中症の症状が治まるのに2~3日、体が回復するのに1週間くらいです。そして、完治するまでは1~6か月かかります。

処置の判断を誤ると脳に重い障害が残る場合もあります。熱中症は重症度が高く処置が遅くなるほど後遺症に繋がりやすくなるため、熱中症が疑われるときは早期に医療機関を受診することが大切です。

正しい対策と適切な処置で熱中症を防ぎましょう。

夏バテ
対策に

おすすめドリンク!! NGドリンク!



夏バテ防止
おすすめドリンク

●スポーツドリンク

スポーツドリンクには、塩分やミネラルが適度に含まれているので、体力が落ちやすい夏にはぴったりです。



●ビタミンC・クエン酸ドリンク

酸っぱいドリンクに入っているビタミンCにはストレスの軽減、クエン酸には食欲増進や消化を助ける作用があります。



●紅茶

夏バテの原因である自律神経の乱れを解消します。

●麦茶

カフェインが含まれていないことが多いので、体外への排出を抑え水分とミネラルを摂取できます。

●ココア

意外と思うかもしれません、ミネラルやポリフェノールが夏バテ対策に効果的です。ココアを少量のお湯で溶き水と氷を入れてアイスココアだと飲みやすいです。

●甘酒

体を作るアミノ酸やブドウ糖を多く含んでいるので、夏バテで疲労を感じたり、食欲不振で栄養不足になったりしたときに飲むと点滴のようにエネルギー補修できます。江戸時代から夏バテ対策に飲まれているそうです。



NGドリンク

●カフェインを含むドリンク

カフェインには利尿作用があります。

●糖分の高いジュースや炭酸飲料

水分が体内に吸収するのが遅くなる飲み物です。

●お酒

カフェインと同じく利尿作用があります。

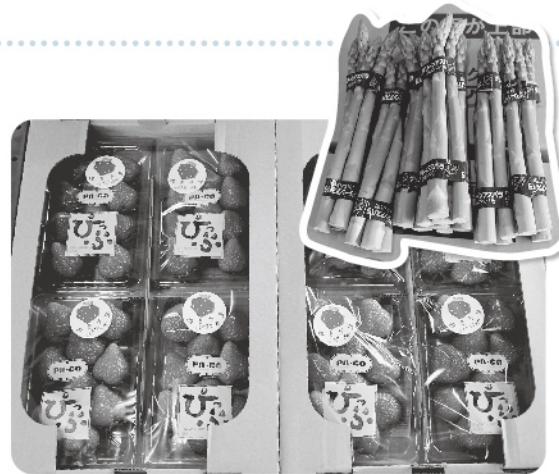
※NGドリンクをどうしても飲みたいときは1杯程度にするか、もしくは同量の水と一緒に飲むようにして下さい。



4月
下旬

青果物の出荷

4月下旬からアスパラ、5月から、大根・いちご・ほうれんそう、6月中旬からきゅうり、下旬からはトマトが出荷されました。7月からはさやいんげん・オクラが出荷されます。本格的に出荷が始まるのは今年も7月になります。



5月
10日

田植え作業

水稻の田植え作業が5月10日から始まりました。今年の田植え期間中は多少風が強かったですが気温が上がり、温かい日が続き、町内農村部がきれいな緑色に染まりました。

今後もほ場の巡回を行いながら、水管理や畦草刈りなどの作業を続けて9月頃の収穫の時期まで大切に育てられます。



5月
12~15日

「えみまる」直播作業

ぴっぷ町水稻直播部会では、5月12日から15日まで、「えみまる」の播種作業が行われました。直播は、ハウスでの育苗や田植え作業等の労力の軽減、育苗工程で使用する資材等のコストが低減できます。





JAぴっぷ町のできごと

5月
22日

農と食に関する学習 比布中央学校田植え体験

5月22日に8区 那須 宏幸さんの水田で比布中央学校の3年生から6年生の児童による田植え体験が行われました。天気には恵まれましたが、水田の水温が上がらず、水の冷たさに歓声をあげながら元気に水田に入って行きました。JAぴっぷ町青年部と町内のボランティアの方々の指導により1本ずつ丁寧に植えて行きました。



児童からの質問タイムでは「田んぼで使う機械は何台ありますか?」という児童らしい質問や「お米の値段が上がっているけど農家が売るお米の値段はどうですか?」などの鋭い質問がありました。

この日植えた苗は9月に行われる稻刈り体験まで大事に育てられ、その後は学校給食に提供される予定です。



6月
3~6日

令和7年度 経営所得安定対策等交付金の申請受付の実施

令和7年度の経営所得安定対策等交付金の申請受付を農協会議室にて行いました。

6月3日～6月6日までの日程で、地区ごとに開催日を設定し、転作計画の確認や、経営所得安定対策の説明を行いました。

多忙な農作業の中、足を運んで頂きありがとうございました。





6月
12日

水稻生育調査

営農課では、普及センターの協力のもと、水稻の生育調査を随時行っています。

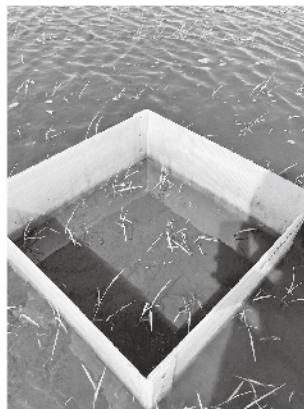
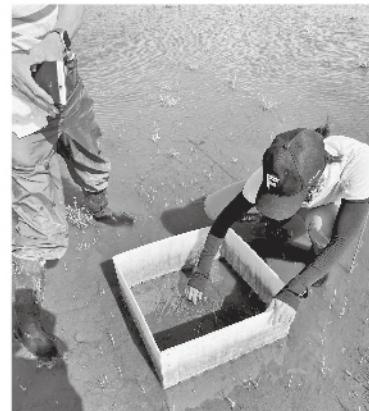
6月12日に「えみまる」の直播ほ場の生育状況について苗立ち調査を行いました。今年は好天に恵まれ順調に生育しております。

水稻は7月に入り、冷害危険期を迎えるため、水管理が重要となります。

生育状況など、気になる点がありまし
たら、営農課または
普及センターまでお
問い合わせください。



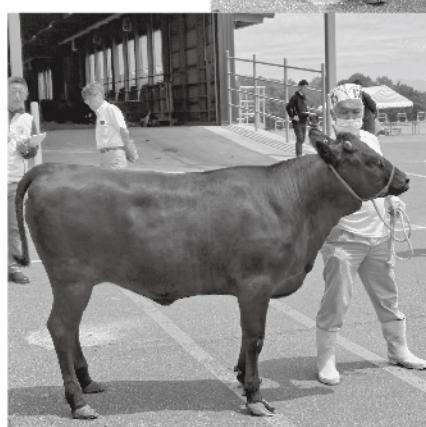
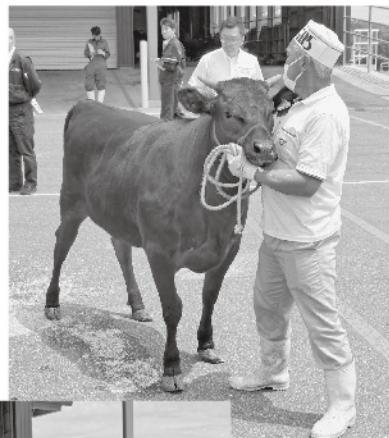
- 営農課 TEL85-4011
- 普及センター TEL84-2017



6月
13日

上川管内総合家畜共進会

6月13日、旭川市のホクレン家畜市場にて第67回上川管内総合家畜共進会が開催され、管内5JAから16頭が出品され体形や資質、品位などが競われました。当JAからは20区森浩恭さんが名号「みき」を第6部黒毛和種未経産(14カ月以上17カ月未満)に出品し、惜しくも入賞は逃しましたが、審査員からは骨つきについて高く評価されました。





6月
17日

町内でいちご狩り始まる

6月17日から比布町内でいちご狩りが始まりました。今年は、「けんたろう」「ゆきララ」「宝交」の3品種、5農園で開催されました。6月下旬には町内のいちご狩り農園にはたくさん的人が来園されました。いちご狩りは7月上旬頃まで続く予定です。



6月
20日

比布町水稻生産部会 現地研修会開催

比布町水稻生産部会では、6月20日に現地研修会が行われ、生産者14名の方が参加されました。

普及センターより、今年の水稻の生育状況や、中干しの重要性や水管理、病害虫の予防など今後の栽培管理について、また「そらきらり」について「きらら397」よりも多収、いもち病抵抗性が強いなどの説明がありました。



畦畔等の草刈りを実施しましょう !!

良質な農産物の生産には、ほ場周辺での害虫の発生を防ぐ事が重要です。病害虫の発生源とされる、畦畔及び転作田等の適正管理の為、畦畔や用水路・公共地の草刈りを7月15日までに行いましょう。

草刈りを行う前に機械等の点検を行い、事故防止に努めてください。

刈り取った草は焼却しないようお願いします。また、用排水路には捨てないようにしましょう。



第27回
上川農試公開デー
入場無料!! 雨天決行



上川農業試験場では、みなさまに試験場の仕事を知っていただくため、公開デーを開催いたします。入場は無料で、雨天でも実施します。みなさまのご来場をお待ちしています。

日時：8月6日(水) 10:00～13:00

場所：上川農業試験場(比布町南1線5号)

多数のイベントを
ご用意しています

- 研究ほ場見学バスツアー
- いろいろ体験コーナー
- 何でも農園相談
(土や病害虫の診断も)
- 農業機械の紹介
- クイズラリー
- 地元特産品販売など・・・



▲2024農試公開デーの様子

林産試験場から木を使った
体験コーナーも予定しています。
(内容は変更する場合があります)



問い合わせ：上川農業試験場 TEL 0166-85-2200

旭川通運への運送業務委託について

比布町農業協同組合

令和7年6月1日より、ホクレントラックとしておこなっておりました運送業務を旭川通運に委託することになりました。

尚、旭川通運への運送業務委託に伴い、ホクレントラック比布事業所は閉鎖いたします。

組合員の皆様におかれましては、令和7年度期中における変更となり、ご不便・ご迷惑をお掛け致しますが何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

また、長年に亘り、ホクレントラックをご利用いただきましたこと心より厚くお礼申し上げます。

旭川通運への運送業務委託に際し

- ・肥料配送、お米の出荷などの運送は従来同様ご利用いただけます。
- ・春や秋の農繁期は、旭川通運が常駐し運送をおこないます。
- ・お米の出荷運賃は現行据置となっており、組合員皆様の負担は変わりません。（令和7年6月現在）
- ・運送受付は従来同様に
肥料：生産資材課、お米などの農産物：営農販売課で受付いたします。
- ・配達、集荷のご依頼は前日までにご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら下記担当課までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

運送に関するお問い合わせ先

生産資材課：電話85-3115
営農販売課：電話85-3116



知らないと

損！

農業者年金(積立型) の税制優遇と保険料補助



- 生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、
- その合計額（最高保険料6万7千円の場合は3人分で24万2千円）
が経営主の所得から控除できます。

※ **保険料補助** を受けるには…

国民年金第1号被保険者などの農業者年金への加入要件に加え、

- 39歳までに加入
- 農業所得が900万円以下
- 下記の農業者の担い手要件 を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を
締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

詳しい内容やご相談については…

最寄りの比布町農業委員会や JA ぴっぷ町にお問い合わせください。

農業者年金基金ホームページ

農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>

BOARD REPORT

理事会報告

次の議案について協議し、承認されました

第4回理事会

令和7年5月7日

- ①令和7年産米出荷契約について
- ②令和5年産米追加本精算並びに令和6年産米追加精算等について
- ③出資金の事務処理について
- ④道常例検査指摘事項に対する改善状況報告書について
- ⑤ホクレントラック事業所の廃止及び業務委託について
- ⑥令和6年度 ホクレン生乳生産対策に係る経理処理について
- ⑦理事に対する貸出金の貸付について
- ⑧ディスクロージャー誌について
- ⑨規程類の一部変更について

第5回理事会

令和7年6月16日

- ①定期監査報告
- ②出資金の異動について
- ③理事に対する貸出金の貸付について
- ④貸出金の手形貸付について
- ⑤規程類の全部改正について
- ⑥職員の夏期手当支給について
- ⑦組合員懇談会について

退職者

大変お世話になりました。
組合員皆様の益々の発展をご祈念申し上げます。

金融共済課 共済係
高 橋 ゆうな 令和7年6月30日付
(たかはし ゆうな)



高品質生産につながる 土壤診断を活用しましょう。

3,366円(税込)の土壤診断料に対し米麦改良協会より
2,800円の助成が受けられます。(水稻・麦のみ)

土壤診断を行う事で、土壤の状態を正確に把握し、診断結果に応じた施肥改善を行う事で、高品質な農産物の生産に繋がります。

8月頃ご案内しますので、ぜひ活用ください。



農繁期のための

時短料理

冷やしうどん

暑い夏の日の食事作りは気が滅りますね。作る作業もそうですが、温かい料理を食べるのもエネルギーを使い、ますます暑く感じます。そんな日には少しでも涼しくなる冷たい食べ物はいかがでしょうか。



[材 料] 2人分

●冷凍うどん	2玉
●オクラ	4本
●塩	適量
●豚バラ肉	100g
●天かす	適量
●紅しょうが(千切り)	適量
●焼きのり	適量
●麺つゆ	300cc



[作り方]

- ①オクラに塩をまぶして板ざりをし、サッと茹で、1cm幅に切る。
- ②うどんは茹でて、サッと水洗いし、水気をきる。
- ③肉は4cm幅に切り湯通し、粗熱を取る。
- ④うどんを器に盛り、オクラ、豚肉、天かす、紅しょうがを載せ、麺つゆをかけて最後に焼きのりをちぎって載せたら出来上がり！

麺つやはあらかじめ作って冷蔵庫で冷やしておくと美味しく食べられます。
1回のお湯でオクラ、うどん、肉の順番で茹でると調理時間の短縮が出来ます。

葬儀・法要のご用命は…

24時間 365日対応

J A ひっぷ町 生産資材課へ



突然のご不幸。即時対応致します。
葬送の儀すべて真心こめて
お手伝い致します。

■お問合せ先 JAひっぷ町 生産資材課

資材店舗 ☎85-3115

農協担当者携帯 080-5722-4171

～仏壇・墓石のご相談賜ります～

提携葬儀社:旭川公益社 TEL(0166)52-1211

「if共済会」のご案内 基本葬儀料の10%が「弔慰金」として受け取れます。詳しくは上記までお問い合わせ下さい。

JAひっぷ町公式SNS

JAひっぷ町では、公式SNSで、JAひっぷ町からのお知らせや、営農情報などを発信しています。広報誌では掲載できないカラー写真や動画なども配信していますので、忙しい時でも情報を受け取ることの出来る公式SNSを是非ご利用ください。



LINE公式アカウント

JAひっぷ町からの無線放送の一部をお届け。

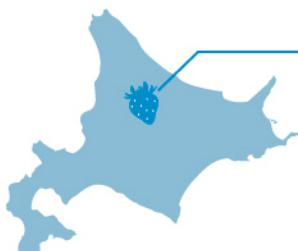


Facebook

JAひっぷ町からの営農情報や、各課からのお知らせなどをお届け。

編集後記

くみあいだよりの編集担当になってから身についてしまったことがあります。それは通勤途中の車から水田の様子を見ることです。そして、他市町村へのドライブ途中でも見てしまうクセがついてしまいました。一面緑の水田は気持ちがいいものです。収穫の秋に向かってすくすくと育ってほしいですね。



J A ひっぷ町 くみあいだより Vol.485

比布町農業協同組合

〒078-0342 北海道上川郡比布町西町3丁目5番14号 TEL0166-85-3111

ホームページ <http://www.ja-pippu.or.jp/>

●発行／令和7年7月 ●発行者／大西 勝視 ●編集責任者／営農課